

[基本教育科目/表現力の養成]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
英語Ⅱ(応用・医療英語)	NLA32_001	必修	1	3	前期	
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー			
和田 望	教員控室	kango	随時メールで質問等受付			
授業の目的・概要	英語Ⅰの授業内容を踏まえ、看護や医学に関連した基礎的な「読む・書く・聞く・話す」能力の習得を目指す。看護に関連したエピソードについて英語で書かれた文章を読んで理解する読解力、医療現場で使えるコミュニケーション能力を伸ばす。同時に基礎医学および看護の実践で使われる機会が多い語彙、正しい発音と表現方法を修得し、保健・医療分野の専門用語を身に付ける。またパラグラフライティングの練習を通し、問診した内容の記述を練習する。課題学習等を通して教科書の内容を理解し、その後の授業においてフィードバックとグループワーク等の意見交換を行い理解を深める。					
学習上の助言	この授業では予習・復習を必ず行い、発音練習やペア/グループワークに積極的に参加し、遠隔授業中も積極的な姿勢で学習に取り組むこと。学習において不明・不安な点があれば遠隔授業中に質問を受け付ける。					
教科書	Caring for People 医療分野で働くためのコミュニケーションコース/著:Takao Okada, Michiko Miyazumi, Tamiko Miyatsu, Philip Hinder, Kyoko Shida, Masako Sugita, Iwao Yamashita/Cengage Learning/2014					
参考書	特になし。					
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針			
①	医療の現場で必要な語彙を身につける	HSU(2)(4)(5).NS(2)				
②	ネイティブスピーカーの英語を聞き取ることができる	HSU(2)(4)(5).NS(2)				
③	英語を聞いて、自分の意志を英語で伝えることができる	HSU(2)(4)(5).NS(2)				
④	学習した医療・看護英語の知識を用いて英文を作成したり読み解くことができる	HSU(2)(4)(5).NS(2)				
⑤	発話・会話練習を通して相手に伝わる英語を表現できる	HSU(2)(4)(5).NS(2)				
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)			
1	Unit 1:患者登録に関する表現を学習する。 フィードバック:解説資料返却で実施 意見交換の機会:授業時間内に実施	印刷教材等での授業	[課題]単語・表現を調べる。 Vocabulary、Dialog、Listening Comprehension、Model Dialog 1 & 2 の問題を解く。Medical Knowledge の発音練習をする。 [復習]重要表現等をノートにまとめる。Key Expressions と会話練習部分の首読をする。	3		
2	Unit 2:病歴の把握に関する表現を学習する。 フィードバック:解説資料返却で実施 意見交換の機会:授業時間内に実施	印刷教材等での授業		3		
3	Unit 3:主訴・病状に関する表現を学習する。 フィードバック:解説資料返却で実施 意見交換の機会:授業時間内に実施	印刷教材等での授業		3		
4	Unit 4:バイタルサインに関する表現を学習する。 フィードバック:解説資料返却で実施 意見交換の機会:授業時間内に実施	印刷教材等での授業		3		
5	Unit 5:検体採取に関する表現を学習する。 フィードバック:解説資料返却で実施 意見交換の機会:授業時間内に実施	印刷教材等での授業		3		
6	Unit 6:検査の注意や指示に関する表現を学習する。 フィードバック:解説資料返却で実施 意見交換の機会:授業時間内に実施	印刷教材等での授業		3		
7	Unit 1~6の復習	同時双方向型授業		Unit 1~6の復習	1	
8	Unit 7:痛みに関する表現を学習する(疾病)。	同時双方向型授業			1	
9	Unit 7:痛みに関する表現を学習する(負傷)。	同時双方向型授業			1	
10	Unit 8:投薬に関する表現を学習する。	同時双方向型授業			1	
11	Unit 9:介助・援助に関する表現を学習する。	同時双方向型授業			1	
12	Unit 10:栄養と食餌に関する表現を学習する。	同時双方向型授業			1	
13	Unit 11:入院患者のケアに関する表現を学習する。	同時双方向型授業			1	
14	Unit 12:救命救急に関する表現を学習する。	同時双方向型授業			1	
15	Unit 7~12の復習	同時双方向型授業			1	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照					

[基本教育科目/表現力の養成]

総合評価割合(%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	80	10	0	10	100
総合力指標	知識・技術力	0	20	0	0	0	20
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	10	0	0	20
	コミュニケーション力	0	10	0	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	20	0	0	10	30
問題を発見・解決する力		0	10	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
レポート	①	✓	教科書で学習した文法知識を使い、英文を作成する。日常会話・医療現場で使える単語を学習し、例文を作る。				
	②						
	③						
	④	✓					
	⑤						
成果発表	①	✓	教科書で学習した Key Expressions を暗記し、発表する。棒読みではなく、リズム、イントネーション、発音に注意を払うこと。				
	②						
	③						
	④						
	⑤	✓					
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
その他	①	✓	自宅学習課題の提出。提出の有無、学習内容の記録状況から評価する。				
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
備 考							
担当教員: Teams を使った同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限の Wifi 環境を推奨します。今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスが変更される可能性があります。							